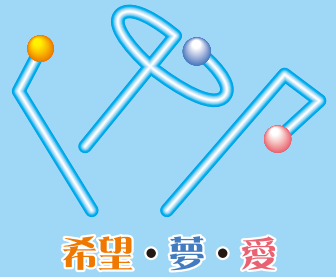


せんだん



一人も泣く人のいない一人残らずの人が喜ぶ社会づくり

35周年記念インタビュー！決意したあの日！

法人創立35周年の節目にあたり、社会福祉法人一れつ会の出発点となった共同作業所『せんだんの家』の所長として着任された小林義和前理事長に、当時の思い出をインタビューいたしました。その内容を今年度の地域だよりで紹介して参ります。

「今から約40年前のことになりますが、1982（昭和57）年7月、共同作業所『せんだんの家』の所長に就任するため、神戸の施設を退職され、地元、神辺に帰ることを決意された時の思いを聞かせて下さい」

小林相談役（前理事長）：

当時の福山北養護学校（現・福山北特別支援学校）卒業生の卒業後の行き場がなく、作業所を造ろうと、PTAの方が福山市御幸町上岩成にプレハブを建て、『広島県立福山北養護学校PTA共同作業所せんだんの家』が開所されました。建物はできましたが通ってきても職員がいないという状況で、PTAの方が支援するようにしましたが、専門家がいないという課題がありました。



利用者と塩土づくりを行う小林義和 前理事長
（昭和57年10月22日 中国新聞抜粋）

ようになり、「福山に帰ってやってほしい」という話が出てきました。私は、福山に帰るといふ思いは全くありませんでしたが、『私の思い描く福祉を実現するために、福祉をこんな風にやってみたい』という夢はありました。そして、「どこにも入所の施設に空きがなく、待つても入れてもらえず、もう30年以上も入所希望を出しても入所できない。どうしても福山に施設がほしい。あなたの講演を聴いて、この人しかいないと思った」というご家族の切実な思いを伺っているうちに「福山で待つておられる方々のために施設を造ろう」という思いで帰郷し、所長としてがんばることにしました。

そこで、私が勤めていた法人の理事長に、「法人格を取るまでは、うまくいかないからと言って逃げ出すようなことはしない」という決意を伝え、神戸の施設を退職し、地元神辺に戻って専任指導員として地域に根差した福祉施設造りを目指していくことになりました。

私は、私が退職をする日、理事長から、「人間はなあ、霞（かすみ）を食って生きていけないやで。」という言葉が掛けていただきました。私はその言葉の意味が理解できませんでした。だが、実際に多くの方から「支援・ご協力」をいただきながら法人設立を成し遂げることができたときに、「一生懸命になって他の人のことを思いやり、喜んでいただけるとしていただければ、周りの人がほっとかない、支援や協力をしていただけたら」というその言葉の意味が理解できました。

次号でも引き続き、小林義和前理事長より、無認可時代や法人認可後のエピソード、当時の思いを掲載いたします。

社会福祉法人 一れつ会



●法人本部

〒720-2419 福山市加茂町字上加茂811番地
TEL : (084)972-5544 FAX : (084)972-5549 IP電話 : 050-3821-0740
HP : <https://www.ichiretsukai.jp> E-mail : itiretu@h2.dion.ne.jp

●事業所一覧

せんだんの家（生活介護、就労継続支援B型）
いこいの家（施設入所支援、生活介護、短期入所、日中一時支援）
ウイズ（就労継続支援A型）
ほほえみ（生活介護）
居宅介護支援センター和らぎ（居宅介護、重度訪問介護、行動援護、移動支援）
ほっと（一般相談支援事業、特定相談支援事業、障害児相談支援事業）
しんぷおにい（生活介護、就労継続支援B型、日中一時支援）
春日寮（施設入所支援、生活介護） かすが（短期入所、日中一時支援）
青葉（生活介護、就労継続支援B型、就労移行支援、自立訓練（生活訓練））
いすみ（共同生活援助（グループホーム））
かがやき（放課後児童クラブ）

青葉ミニ運動会 ～喜び・笑顔・達成感・一体感～

新型コロナウイルス感染症の流行により、昨年度から東部地区の親善行事である球技大会やスポーツ大会をはじめ、法人行事である夏祭り・運動会・コンサート等といった行事が開催できなかったため、私たち青葉の支援員は、「利用者さんが少しでも楽しめて、達成感や一体感を感じられることができないか。」と考えました。そこで、日頃の活動で行っているサーキット運動（複数の運動を取り入れたもの）をヒントに、ミニ運動会を開催しました。開催にあたっては、新型コロナウイルス感染症予防として、マスクの着用、休憩場所でのソーシャルディスタンス、定期的な手洗い・手指消毒を参加者一人ひとりが守りながら行いました。

ミニ運動会は、6月5日（土）に春日寮・青葉のグラウンドで、紅組と白組に分かれてチーム戦で行いました。種目は、『玉入れ』と『巨大サーキット』を用意しました。『玉入れ』では、紅組と白組がそれぞれにチーム一丸となり、より多くの玉を力ゴの中に入れられるよう協力し合うことで「一体感」を感じてもらいました。『巨大サーキット』では、一人ずつのタイムトライアル形式で行い、設置された様々な運動種目をクリアしながら、ゴールを目指し、「達成感」を感じていただきました。

参加された利用者さんは、キラキラと輝く笑顔で久しぶりの競技に取り組まれ、また、「〇〇さん、頑張れー！」等の声援もマスク越しに飛び交いました。感染症対策をしながらのミニ運動会は、普段とはまた違った交流の場となりました。

私たち青葉の支援員は、「コロナ禍にあっても感染症対策にしっかりと努めながら、利用者さんが少しでも楽しく笑顔で生活を送ることができるように。」を心掛け、日々の支援の充実・余暇の充実を図り、利用者さんと職員が一緒になって、青葉全体を盛り上げていきたいと思っています。

（青葉 友田 華奈）



春日寮 球技大会

～カメラの向こうには満面の笑み～

昨年に引き続き、6月開催予定であった広島県東部地区親善球技大会が中止となりました。大会が中止となり、利用者さんからは落胆の声が聞かれていました。

大きな行事はもちろん、帰省や買物等の外出を我慢する期間も続く中、支援員には、少しでも利用者さんに楽しい時間を提供したいという思いがありました。そこで今回「春日寮 球技大会」と銘打ち、日々の日中活動で実施しており、多くの利用者さんが参加されているフライングディスク、グラウンドゴルフを競技種目として行事を催しました。

大会当日の6月6日（日）は天候にも恵まれ、開会式から多くの利用者さんが参加され、気持ちのいい汗を流されました。また、閉会式では成績優秀者の表彰式が行われ、皆で健闘を讃えあいました。

今回は、春日寮の利用者さんと支援員だけの参加ではありませんでしたが、マスク着用、手指消毒の徹底はもちろんのこと、競技によって競技時刻をずらして参加者を分散することで、ソーシャルディスタンスを十分に確保して実施しました。

これからも感染症対策には十分留意しながら、利用者さんに喜んでもらえる行事を企画し、安全に楽しく開催していきたいと考えています。

入賞したよ!

（春日寮 下江 広太）



見事ホールインワン賞!



綺麗に入りました!



見て!僕の投げ方



まだまだ元気!



さあ始まりだ!

新型コロナウイルス感染症予防の取り組みについて

一れつ会では、現在も新型コロナウイルス感染症対策として感染リスクを最小限に抑えるための行動基準を定め、3密回避やマスクの着用、手洗いやうがい、手指消毒や検温、換気の実施はもちろんのこと、事業所館内や公用車の消毒を徹底するなどの取り組みを続けております。また、外出や行事等イベントの自粛も継続して行っており、職員をはじめとして、利用者や家族のみなさま、そして関係者のみなさまにご理解とご協力をいただきながら、感染防止に努めております。

ソーラン踊り・福の山音頭 他事業所との交流再開に向けての一步



久しぶりの総踊り

新型コロナウイルス感染症の流行以前は、せんだんの家コンサートや行事などでの発表に向けて、また、他事業所の利用者さんとの交流も兼ねて月に2回、加茂地区、春日地区、三吉地区のメンバーが集まって合同でソーラン踊りの練習をしていました。

しかし、新型コロナウイルス感染症の流行で、多人数での集まりや事業所間の交流を控えなければならなくなり、合同での練習は一年以上できていませんでした。

新型コロナウイルスの感染状況に改善が見られない中、何とか合同でソーラン踊りができる方法がないかと検討し、まずはいいの家とせんだんの家で、オンライン（Zoom）を活用して、合同でのソーラン踊りの練習を開始しました。

画面越しにお互いの顔が見えると、利用者の皆さんは練習そっちのけで手を振り合い「久しぶり!」「元気?」など、笑顔で会話を楽しみ、久々の交流を喜んでいる様子でした。その表情を見ると、新しい取り組みを喜んでもらえて嬉しく思うと同時に、他事業所との交流の必要性を改めて感じる事ができました。

現時点では加茂地区のみでオンラインを使ってソーラン踊りの練習を行っていますが、春日・三吉地区とも練習を行っていく予定にしています。

さらに今後は、ソーラン踊り以外の活動でもオンラインを活用して、違う事業所の利用者さん同士が交流できる機会を増やして、みなさんに喜んでもらいたいと思います。

（いいいの家 園田 昂太）



元気に踊れてるかな

春日・三吉地区ミニ夏まつり ~コロナと共に今という時代に笑顔と思い出を~

夏といえば、恒例の夏まつり!!毎年、事業所を利用される方はもちろん、各事業所の近隣の方や関係者にもご案内し、大勢で夏の思い出づくりをしてきました。しかし、新型コロナウイルス感染症が流行し、昨年は実施できませんでした。今年も外部の方をお招きすることは難しいけれど、「いつ訪れるかわからない終息を待つよりも感染対策をとりながらできることをやろう!」と、スタッフみんなで検討し、夏まつりを実施しました。

7月24日（土）、春日地区のグラウンドで行った『ミニ夏まつり』では、密を避けるために、午前は「青葉」、午後は「しんぷおにい」、夕方は「春日寮」と、事業所単位で「マスクの着用」、「食事は対面にならない・しゃべらない」、「ゲームコーナーで使った道具は使用する人が変わるたびに消毒」、「テント内は大型扇風機で空気を循環」等の感染症対策ルールを決めて行いました。

利用者さんと職員と一緒に、美味しそうに食べ、楽しそうに笑い、喜んでいる姿は、普段見る表情とはまた違った表情で一年ぶりに夏の良き思い出を作ることができたと感じました。

これからもその時々状況に応じて、自分たちにできることは何かを考え、これからもより多くの楽しみを提供していきたいと思います。

（青葉 佐々木 隆志）



紙がやぶけないように、そっとめだかをすくいました。



美味しそうな唐揚げ! 食べるの楽しみ♪



的をしっかりねらって撃ちます。



チケットと交換。どれも美味しそう!



大きな風船をねらいます。



2020（令和2）年度 社会福祉法人 一れつ会 決算報告書（令和3年3月31日現在）

2020年度 社会福祉法人一れつ会 決算報告書 貸 借 対 照 表 令和3年3月31日現在

（単位：円）

資産の部	当年度末	負債の部	当年度末
流動資産	730,199,481	流動負債	257,502,359
現金預金	446,846,549	事業未払金	146,543,075
事業未収金	248,762,128	1年以内返済予定設備資金借入金	9,450,000
未収補助金	30,060,000	預り金	6,170,697
貯蔵品	0	職員預り金	178,350
商品・製品	1,814,213	前受金	47,300
仕掛品	96,036	賞与引当金	95,112,937
原材料	1,804,487	固定負債	90,618,700
立替金	4,345	設備資金借入金	33,750,000
前払費用	811,723	退職給付引当金	56,868,700
固定資産	3,321,966,572	負債の部合計	348,121,059
基本財産	1,746,036,445	純資産の部	
土地	656,232,569	基本金	441,059,599
建物	1,089,803,876	1号基本金	333,176,937
その他の固定資産	1,575,930,127	2号基本金	103,532,662
建物	65,698,869	3号基本金	4,350,000
構築物	13,836,047	国庫補助金等特別積立金	700,167,626
機械及び装置	9,495,331	その他の積立金	1,358,492,000
車輛運搬具	4,588,822	人件費積立金	216,000,000
器具及び備品	30,674,764	修繕費積立金	137,500,000
建設仮勘定	32,863,700	備品等購入積立金	107,500,000
ソフトウェア	1,132,938	施設整備等積立金	892,000,000
その他の固定資産	851,880	工賃変動積立金	2,001,000
退職給付引当資産	56,868,700	設備等整備積立金	3,491,000
長期前払費用	1,427,076	次期繰越活動増減差額	1,204,325,769
人件費積立資産	216,000,000	（うち当期活動増減差額）	70,508,317
修繕費積立資産	137,500,000	純資産の部合計	3,704,044,994
備品等購入積立資産	107,500,000		
施設整備等積立資産	892,000,000		
工賃変動積立資産	2,001,000		
設備等整備積立資産	3,491,000		
資産の部合計	4,052,166,053	負債及び純資産の部合計	4,052,166,053

資金収支計算書

（自）令和2年4月1日 （至）令和3年3月31日 （単位：円）

勘定科目	当年度決算額
事業活動による収支	
収入	
就労支援事業収入	74,609,021
障害福祉サービス等事業収入	1,453,202,489
その他の事業収入	13,648,361
借入金利息補助金収入	21,000
経常経費寄附金収入	6,604,045
受取利息配当金収入	2,790,331
その他の収入	38,061,239
事業活動収入計 (1)	1,588,936,486
支出	
人件費支出	1,170,373,591
事業費支出	122,736,660
事務費支出	76,495,057
就労支援事業支出	78,972,986
その他の事業支出	5,905,341
支払利息支出	576,980
その他の支出	17,877,291
事業活動支出計 (2)	1,472,937,906
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	115,998,580
施設整備等による収支	
収入	
施設整備等補助金収入	37,956,752
施設整備等収入計 (4)	37,956,752
支出	
設備資金借入金元金償還支出	9,750,000
固定資産取得支出	57,499,360
施設整備等支出計 (5)	67,249,360
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△29,292,608
その他の活動による収支	
収入	
積立資産取崩収入	1,799,600
その他の活動収入計(7)	1,799,600
支出	
積立資産支出	101,315,200
その他の活動による支出	0
その他の活動支出計(8)	101,315,200
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△99,515,600
予備費支出 (10)	-
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△12,809,628
前期末支払資金残高(12)	586,354,951
当期末支払資金残高(11)+(12)	573,545,323

事業活動計算書

（自）令和2年4月1日 （至）令和3年3月31日 （単位：円）

勘定科目	当年度決算額
サービス活動増減の部	
収益	
就労支援事業収益	74,609,021
障害福祉サービス等事業収益	1,453,202,489
その他の事業収益	13,648,361
経常経費寄附金収益	6,608,545
その他の収益	6,183,300
サービス活動収益計 (1)	1,554,251,716
費用	
人件費	1,181,030,933
事業費	122,741,160
事務費	77,217,515
就労支援事業費用	80,452,527
その他の事業費用	5,905,341
減価償却費	60,827,344
国庫補助金等特別積立金取崩額	△26,005,154
その他の費用	609,600
サービス活動費用計 (2)	1,502,779,266
サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2)	51,472,450
サービス活動外増減の部	
収益	
借入金利息補助金収益	21,000
受取利息配当金収益	2,790,331
その他のサービス活動外収益	33,677,539
サービス活動外収益計 (4)	36,488,870
費用	
支払利息	576,980
その他のサービス活動外費用	17,267,691
サービス活動外費用計 (5)	17,844,671
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	18,644,199
経常増減差額 (7)=(3)+(6)	70,116,649
特別増減の部	
収益	
施設整備等補助金収益	37,956,752
その他の特別収益	163,581,000
特別収益計 (8)	201,537,752
費用	
固定資産売却損・処分損	64,084
国庫補助金等特別積立金積立額	37,501,000
その他の特別損失	163,581,000
特別費用計 (9)	201,146,084
特別増減差額 (10)=(8)-(9)	391,668
当期活動増減差額 (11)=(7)+(10)	70,508,317
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額 (12)	1,229,036,452
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	1,299,544,769
基本金取崩額 (14)	0
その他の積立金取崩額 (15)	0
その他の積立金積立額 (16)	95,219,000
次期繰越活動増減差額 (17)=(13)+(14)+(15)-(16)	1,204,325,769

ヤングケアラーはこんな子どもたちです

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもをいいます。



©一般社団法人日本ケアラー連盟 / illustration: izumi shiga

出典：厚生労働省ホームページ (<https://www.mhlw.go.jp/stf/young-carer.html>)

相談窓口：くらしの相談窓口

加茂地区：084-972-5544

春日地区：084-947-1266

「ヤングケアラー」とは、通学や仕事のかたわら、障がいや病気のある親や祖父母、年下のきょうだいなどの介護や世話をしている18歳未満の子どもをいいます。家族の介護のために学業に遅れが出たり進学や就職を諦めたりするケースもあり、中学生の約17人に1人、高校生の約24人に1人が家族の世話をしていることが判明し、18歳未満の子どもが食事の準備、洗濯、きょうだいの送迎（保育園等）、祖父母の介護・見守りなど、多岐にわたって行っていることも分かりました。

「ヤングケアラー」という言葉がまだ社会に浸透していないこともあり、本人自身がその立場にあるという自覚がないために、子どもらしい生活が送れず、誰にも相談できずに一人で耐えている子どもが多くなります。こういった子どもたちを適切な支援に繋げていくために、社会全体で「ヤングケアラー」について関心を持ち、自分で周囲に相談できない子どもや過度な負担を抱え込んでいる子どもに気づいたら、まずは相談機関へお知らせください。

みなさん、『ヤングケアラー』って知っていますか？

2021（令和3）年 社会福祉法人一れつ会 理事・監事・評議員の改選のお知らせ

日頃より社会福祉法人一れつ会並びに関係事業所に対しまして、ご支援・ご協力をいただき誠にありがとうございます。この度、当法人の理事・監事及び評議員の改選がありました。2021（令和3）年6月18日からの理事・監事及び評議員は以下の通りです。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

役員（理事・監事） ※順不同		役員（評議員） ※順不同	
理事長	小林 智久	評議員	尾熊 達雄
理事	岩森 逸美	評議員	小川 孝夫
理事	金尾 芳和	評議員	井上 茂樹
理事	重政 義文	評議員	後藤 一也
理事	永井 勝二	評議員	神田 浩志
理事	延近 善浩	評議員	北川 洋子
理事	諏澤 隆	評議員	平部 郁子
監事	岡 和夫	評議員	西田 良輔
監事	中川 睦章	評議員	森分 隆
理事の任期：2021（令和3）年6月18日から 2023（令和5）年定時評議員会（2023年6月） 終結の時		評議員の任期：2021（令和3）年6月18日から 2025（令和7）年定時評議員会（2025年6月） 終結の時	

ありがとうございました

（3月～8月）
（順不同）

●ご寄付

・福田 ミツ子様
・近藤 千賀子様
・山口 友男様
・山下 哲治様
・日本生命労働組合様
・松葉 美穂様
・松岡 公基様

●ご寄贈

・得能 公平様
・児玉 和子様
・林 邦子様
・土屋 康彦様
・木ノ浦町内会様
・藤井 宏道様
・梶原 勝美様
・奥野 沙也加様
・高橋 京子様

・福田 ミツ子様
・藤井 麻美子様
・高橋 雅弘様
・アバンセ株式会社
・後藤 一也様
・海原 弘子様
・近藤 千賀子様
・三輪 尊教様
・太平洋電機産業株式会社様
・小野 幸子様

・備龍会
会長 田坂英尊様
・公益社団法人 生命保険ファイナンシャル
アドバイザー協会様
・福田 修兵様
・藤井 浩二様
・信菱液化ガス株式会社様
・山田 俊乃様
・松井 啓悟様
・株式会社吉野設計様

・夢門塾 御幸様
・アデリー 渋谷様
・株式会社ヨシケイ福山様
・竹谷 真穂様
・藤井 栄子様
・株式会社黒瀬ベッパード様
・株式会社ダスキンニココ様
・山下 哲治様
・柴田 良子様
・安部 年見様

実習生・就業体験実習・職場体験・ボランティア・見学（3月～8月）

●実習生
（加茂地区） ・福山平成大学様 1名
（三吉地区） ・穴吹国際みらい専門学校様 2名
●就業体験実習
（加茂地区） ・広島県立福山北特別支援学校様 2名
（三吉地区） ・広島県立福山北特別支援学校様 3名

●ボランティア
（春日地区） ・広島県立福山北特別支援学校様 3名
（三吉地区） ・穴吹国際みらい専門学校様 1名
・日下 清美様

「新しい暮らしの場ができました」

2021(令和3)年6月1日、せんだんの家から南に歩いて2分の場所、加茂地区「すまいる」ホームの並びに2階建ての新しいホームができました。

名称は「すまいる2(に)」です。定員は男性7名で、他のホームから転居された方や新規入居の方が生活されています。

外観は、白色を基調としながらも、正面はこげ茶色を使用し、モダンな作りとなっています。玄関は自動ドアで、居室は全室個室です。入居された方々は、「すまいる2」での生活に慣れつつあり、その中で「新しい建物はキレイでいいよ。」「賑やかで楽しいよ。」「快適なんよ。」と、新しい生活の感想を述べられています。

私たち支援員は、一人ひとりのプライバシーを尊重し、家庭的な雰囲気大切にしながら、その人の心の拠りどころとなるような場所にしていきたいと思います。「グループホームに入居してよかった。」と、感じて頂けるよう、サービスの提供に努めてまいります。

(いずみ 松浦 玲子)



外観



食堂



居室



永年勤続表彰

50年、100年と続いていくよう、これからも、利用者、そのご家族、地域の方々、職員、職員の家族、すべての人がよろこぶ社会づくりを進めていきたいと、身の引き締まる一日となりました。



昼食は豪華なお弁当でした。

新型コロナウイルス感染症という「難有る」状況の中、「有難い」と思えることをたくさん見つけ、感謝の気持ちを忘れることなく、一れつ会が40年、メは恒例の『福の山音頭』。電波障害による音のずれが心配されましたが、無事、スクリーン上で4事業所のメンバーによる共演が実現しました。オンラインで全事業所が参加しての行事は初めてでしたが、「久しぶりに違う事業所の人たちに会えてよかった!」と、他の事業所の利用者さんや職員の顔を見て喜んでくださる利用者さんの表情を見て、これまで当たり前だった「顔を合わせる」ことの大切さを感じました。



『福の山音頭』みんなで踊って楽しみました。



リモートで事業所を繋ぎました。

オンラインの良いところは、遠く離れている人とも顔を見て話ができることです。全10事業所、計22か所です。スクリーンに映し出されると、「すーい!」「〇〇さんだー!」といった歓声が上がりました。集いの中では、理事長のあいさつに続き、永年勤続表彰、各事業所の活動紹介の動画視聴を行いました。そして、会のシ

この日は例年、全事業所が加茂地区に集まってお祝いをしてきました。昨年は新型コロナウイルス感染症予防のため各事業所で行いましたが、今年は節目の年でもあり、何とか全員で祝うことができないかと考え、Zoomを活用したオンラインでの法人創立記念の集いを開催しました。



理事長のあいさつ

法人創立記念の集い

6月25日、一れつ会は法人創立35年という節目を迎えました。

一れつ友の会の会員になってください

一れつ友の会は、社会福祉法人「一れつ会」が、運営する施設や将来計画している施設の運営に協力し、心身障がい者福祉の向上と福祉教育を通して、互いに助け合いの社会づくりを目的としています。活動推進のために、この会の目的をご理解頂き、友の会への新加入・ご更新をお願いいたします。

○普通会員 1口 5000円/月 ○協力会員 お気持ちに応じて

お問い合わせ・お申し込みは一れつ友の会(せんだんの家内)までお願い致します。TEL(084)972-5544



「QRコード」から過去の地域だよりをご覧いただけます。